

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 30-008

PDCA	事務事業名	図書館・博物館管理運営事業（新型コロナウイルス感染症対策）	部課等名	教育部 博物館	担当	佐々木	
					内線等	23-7173	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： （2）文化の振興 個別施策： ②博物館の活用					
	根拠法令等	博物館法、半田市立博物館条例、半田市立博物館条例施行規則					
	対象・目的	図書館・博物館が適切に運営できるよう、必要な管理運営を行い、利用者の安全・安心を確保するとともに、施設の維持を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来館者への手指消毒の実施、展示室の換気、来館制限等を実施する。 ・国・県の補助制度の動向に注視し、可能な限り活用する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		補助金を活用した消毒液等必要資材の購入			756	千円	
		事業費			756	千円	
		人件費			309	千円	
		総事業費	0	0	1,065	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	来館者1人当たりのコロナ対策コスト			20	円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		施設が安全、安心に利用できる状態に管理されていること。	実績値			—	—
			目標値			—	
			実績値				
			目標値				
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		文化庁の補助事業「文化芸術振興費補助金（文化施設の感染症防止対策事業）」を活用し、補正予算により、新型コロナウイルス感染症対策を実施した。今回の対策は、国の補正予算に基づく補助事業を活用できたが、時限制度のため、新型コロナウイルス感染症対策が今後も継続して必要となる場合の財源確保が課題である。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持					
	令和3年度の目標	博物館の使命は市民の文化的教養を高めることであり、（公財）日本博物館協会との連絡を密に、新型コロナウイルス感染症対策を適切に行うことで、継続開館を行う。また、国・県の補助制度の動向に注視し、可能な限り活用する。			目標値	単位	
		成果指標			—	—	
		施設が安全・安心に利用できる状態に管理されていること。※本事業は、施設が安全、安心に利用できるよう新型コロナウイルス感染症対策を行うものであるため、数値的な目標設定は適切でない。そのため、目標が達成された状態を上記のとおり文書にて表記するものとする。					